

令和4年度学校だより

学校教育目標 自主 責任 明朗



# 六中だより 6月号

開校43年目

〒352-0023 埼玉県新座市堀ノ内3-11-1

TEL 048-478-2764 FAX 048-482-0136

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/j-dairoku>

全生徒数：658名



学校で学ぶ理由とは  
～ 美しく・温かく・常に前進 ～

校長 齊藤 直之

3年ぶりに修学旅行に行ってきました。少し雨が降りましたが、行程に影響のない範囲となり、すべての行程を無事行うことができました。

さて、なぜ学校から集団で旅行に行くのか、その目的は何なのでしょう。

よく言われるのは、集団行動の大切さを学ぶことです。

文部科学省の修学旅行に関する通達から引用すると、

「平素と異なる生活環境の中にあって見聞を広げ、集団生活のきまりを守り、公衆道徳について望ましい体験を得ることなど」となっています。

集団生活は、学校のなかで過ごしているだけで、十分に体験できると思いますが、さらに集団で行動することの重要性を子供に教えるのが、目的となります。

また、学校の中だけでは体験できないことを習得できる機会として、修学旅行を位置づけているわけです。

「学校でなぜ、勉強をするのですか。」は、学校で学ぶ子供たちからよくある質問です。今回の修学旅行で改めて学校で学ぶことの意味に気づきました。

まず、街中にある表示を読めないと行きたいところに行けません。行動するには、地図を見て今の位置関係を把握することも重要なことです。お土産を買うときには、いくつ買えるのか、今はだいたいいくらなのか。まとめてお会計するとき、お小遣いで足らなくなるようにするために、頭の中で概算をする必要があります。

さらに、京都の寺社仏閣を見学するにあたって、その文化施設の歴史や意義を

知らなければ、ただの建造物となります。その時代に思いを馳せることで、より一層その建造物に対する思いも強いものとなります。

今、挙げた事例をとってみても、学校の勉強の意味が見えてきます。

そして、班行動には、総合的な学びが影響してきます。班行動のコースを決めるには、どうしましょうか。一人の意見が強いと、周りの人が遠慮します。すると、楽しい活動にはならないでしょう。友達同士で折り合いをつける話し合いが、必要となります。また、班のみんなが仲良く活動するためのルールも必要となります。生徒一人一人の考え方は、もちろん違いがあっても当然です。しかし、集団での行動となると、妥協することも出てきます。その他にも集団で動くときには、周りの人に迷惑をかけないように、列を作って広がらない。話を聞くときは、静かに聞く。ご家庭での躾もあるでしょうが、まさに、学校生活では、小さな社会での過ごし方を学んでいるのです。

「学校でなぜ、勉強をするのですか。」急に質問されると、答えに困ることもあられるでしょう。わたしは、今回の修学旅行で生徒と一緒に行動して、「社会に出たときに困らないように。そして、自分がより豊かに生活をするために。」そういった答え方は、間違っていないのだと再認識した次第です。学ぶことの楽しさ、おもしろさに目覚めるのは早いほうがいいに決まっていますが、学ぶことに遅いと言うことは絶対にはないと思います。学ぶ楽しさを知って、一生学び続けることができたら最高ではないでしょうか。